

高所作業台 U L Eシリーズ 点検・メンテナンスのご提案



エイハン・ジャパン株式会社

お取引先各位

エイハン・ジャパン株式会社 関西支店
大阪府摂津市鳥飼新町1-14-3
TEL : 072-650-1950
谷口 太一

『高所作業機器点検について』

平素より弊社の高所作業リフトをご使用いただき誠にありがとうございます。

御使用頂いておりますULシリーズは2 m以上へ上昇する事が出来る機械の為、使用する事は必然的に**高所作業**に当たります。

高所作業は労働安全衛生法などによって定められており、適切な安全措置を取らなければなりません。安全対策をとっていないと命に関わる非常に危険を伴う作業ですので、不慮の事故等が発生してしまうと、管理責任問題に発展しかねません。

その為安全に御使用いただくため機械の現在の状態チェックを兼ねての点検実施のご案内を推進しております。

是非一度ご検討下さい。

【点検方法】

- ・お客様施設へサービスマンを派遣し、現地で点検を実施いたします。
(作業時間約 2 時間程度)
- ・お客様施設での点検が困難な場合や重整備が必要な場合は、運送便を手配しお預かりしての点検等も可能です。

【点検内容】

規程の点検表に沿って実施します。

通常の使用の中では気付く事の出来ない異常を発見し、経年劣化や摩耗で交換が必要な部品については写真付きの報告書でその旨をご報告し、適正な時期での整備のご提案を行います。

【点検後】

点検後、点検結果として写真付きの「点検証」を発行致します。

点検結果より補修の必要な個所の指摘や、運用上の注意点やアドバイスを記載させて頂きます。

検査を通じまして、作業員の安全確保と機体のコンディション維持、万一の際の責任体制の構築にお役立ていただければ幸いです。

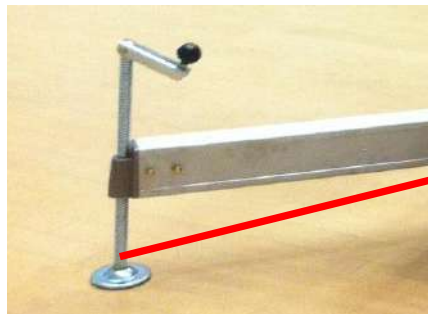
この機会に定期的な検査の実施をご検討いただきたくよろしくお願い致します。

ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

以下は点検に際して確認する代表的な不具合の例です。

例1) アウトリガジャッキスクリュー

リフトを設置するためにジャッキ操作をすると金属同士の摩擦により徐々に痩せてきます。上昇時の安定性に直結し、過度に痩せると折損の恐れもあります為、定期的な交換が必要です。



正常な状態

削れて痩せた状態

例2) サイドワイヤー

昇降時の安定動作の為に不可欠ですが、張り具合に異常があるとワイヤーが切れてしまい、最悪の場合降下が出来なくなる状態に陥ります。定期的な調整が必要です。



切れたワイヤー

例3) キャスタ/ホイール

走行タイヤ部は樹脂を採用しておりますが、使用するしないに関わらずどうしても劣化します。最大で500kgを超える重量がかかる為に劣化すると移動中に割れて剥離する場合がありますが、状況によっては機体が傾き、転倒につながる恐れがあり危険です。定期的な交換が必要です。



表面が削れ、剥離したキャスタ/ホイール

【点検証サンプル】

点検後、点検結果として「点検証」を発行致します。
内容を関係者に周知する事で、事故の防止と責任の明確化にお役立ていただけます。



高所作業台点検証(スライドマスト)

型式	UL35E	検査日	-
製造番号	123-456	検査業者 名 称	〒566-0065大阪府摂津市鳥飼新町1-14-3 エイハン・ジャパン株式会社 TEL : 072-650-1950 FAX : 072-650-1951
顧客名称	〇〇様		
検査実施場所	エイハン・ジャパン(株)関西オフィス		
住所	-	検査者氏名	井村
御担当者	-		

区分	No.	点検箇所	検査内容	結果	補修内容
電 装 関 係	1	電源コード・プラグ・キャブタイヤ	アース機能・損傷・断線	レ	
	2	遮断機	接続部確認・損傷	レ	
	3	コンタクトリレー	磨耗・焼け・接触子研磨	-	
	4	配線	接続部緩み・損傷	A	コネクタの緩みが多数ありました。 増し締め済です。
	5	基板	機能・損傷・取付	レ	
	6	ケーブル	損傷・取付部増締・正常収納の可否	A	接続端子の抜けがありました。 差し直しにより動作復旧しました。
	7	バッテリー	液量・損傷・腐食・比重・端子緩み・出力チェック	-	
	8	充電装置	機能・異音・異常発熱・出力チェック	-	
	9	操作スイッチ	作動・取付部確認	レ	
移 動 用 キ ャ ス タ ー	10	キャスター	変形・磨耗・注油・台座・取付部増締・ベアリング	レ	走行面へキズが多数あります。 経過観察して下さい。
	11	ホイール	変形・磨耗・注油・止めピン確認	レ	
	12	ホイールシャフト	シャフト受け部確認・シャフト磨耗・シャフト径測定	レ	
	13	チルトキャスター	変形・磨耗・注油・台座・取付部増締・ベアリング	-	
昇 降 装 置	14	スライドマスト	異音・振動・損傷・ベアリング汚れ	NG	昇降時の異音があります。
	15	チェーン・滑車	注油・異音・磨耗・伸び	NG	サビ及び磨耗があります。
	16	ワイヤー	取付状態・収納時張り具合	レ	
	17	作業床・手摺り	亀裂・変形・取付部増締	レ	

区分	No.	点検箇所	検査内容	結果	補修内容
斜行・積載装置	18	チルトバック	機能確認・変形・ブラケット確認・ブラケットピン確認・ガスダンパー保持確認	—	
	19	トラックマウント	ラバー機能・損傷・ロックピン・ブラケットピン	レ	
油圧装置	20	作動油タンク	油漏れ・油量・変色・損傷・取付部増締・ドレンプラグ	レ	
	21	配管	亀裂・損傷・劣化・油漏れ・接続部増締・ブリーザキャップ	レ	
	22	電磁バルブ	油漏れ・機能・発熱・損傷	レ	
	23	油圧ポンプ	油漏れ・振動・機能・異音	レ	
	24	油圧シリンダー	連続5回昇降テストにて自然降下と油漏れの有無・バランス前後左右	レ	
安全装置	25	過積載	リリーフ作動	レ	
	26	アウトリガーチューブ	損傷・差込口変形確認	レ	
	27	ジャッキ(ハンドル・ノブ・パッド・キャストイング含む)	亀裂・磨耗・損傷・注油	レ	
	28	ロックピン	作動・変形・注油・増締	レ	
	29	インジケータランプ	点灯確認・注油・スイッチ機能確認	レ	
	30	緊急停止装置	作動・損傷・取付部増締	A	上部緊急停止ボタン 緩みの為増し締め
	31	水平器	作動・損傷・取付部確認	レ	
	32	緊急降下弁	作動・油漏れ(最大上昇時にバルブ閉じた状態で60秒の自然降下の有無を確認)	レ	
	33	緊急降下装置(バッテリー)	損傷・バッテリー電圧確認・作動確認	X	単三乾電池×8本 劣化の為交換実施
区分	No.	点検箇所	検査内容	結果	補修内容
車体関係	34	本体フレーム	溶接部亀裂・変形・損傷	レ	
	35	カバー	割れ・変形・欠け	レ	
	36	外観	清掃・各種ステッカー	レ	
総合	37	総合テスト	作動・異音・振動・異常発熱	レ	
(検査・処置記号) レ…良、NG…不良、△…修理、T…締付、A…調整、W…分解、X…交換、—…該当無し					

特 記 事 項		
推奨延長コード 3. 5SQ-20m メーカーにより機種専用コードが設定してある場合はそれに準ずる。		
昇降速度 上昇 46.74 秒		
下降 28.78 秒		
電圧測定結果 停止時延長コード先端 102.7 V 、 延長コード 2 SQ- 10 m		
上昇時延長コード先端 96.2 V 、 最大電流値 9.2 A		
点検時電圧降下による上昇停止 無		
上記の特記事項は点検時の場所、使用延長コードにより測定できない場合もあります。		
4	A	各コネクター部分に緩みがあり、増し締めしました。
6	A	スパイラルケーブル部の端子が抜けておりコンセントが使えない状態でした。復旧しました。
10	レ	フロントキャスターにキズが多数あります。交換検討下さい。
14	NG	昇降時に異音があります。整備をして下さい。
15	NG	チェーンにサビあり・滑車に摩耗ありの為、交換してください。
30	A	上部緊急停止ボタン緩みの為、増し締め。
33	X	緊急降下用電池切れの為、単三乾電池×8本 交換
		経年劣化により昇降による異音・マスト及びチェーンへの劣化が見られます。
		マストの分解整備をお勧めします。
		(マスト清掃・チェーン交換・チェーン滑車交換)
注		<p>延長コード(電工ドラム)は細くて長いコードを使用すると、電圧降下による過電流が流れ、以下のような症状を起こす原因となります。</p> <p>■延長コード内でのショート ■建屋や本機のブレーカーが落ちる</p> <p>■積載能力を発揮しない ■ヒューズ切れまたは基盤損傷</p> <p>電圧降下を抑える為にもコードの使用は、長さ20m太さ3.5SQ程度の物をご使用する事をお勧めします。</p> <p>また、電工ドラム使用の場合はコードを出しきってください。</p>



NO.01

工種
作業全景

養生の確保



NO.02

工種
油圧、電装系統点検

左) 基盤

・緊急降下用電池劣化の為交換

右) 油圧モーター



NO.03

工種
移動用キャスター点検

フロントキャスター

・走行面のキズが多数あります。

リアホイール



NO.04

工種

昇降系統点検

チェーン・滑車

サビあり・摩耗あり



NO.05

工種

昇降確認点検

自然降下の有無

油漏れの有無

昇降時異音の有無

・動作時異音が確認されます。



NO.06

工種

報告箇所①

作業床ケーブル接続部

・内部端子が抜けており

上部コンセントが使えない状態でした。

差し直しにより現在復旧しています。

以上となります。

これら点検を通して、作業員の安全確保と機体のコンディション維持にお役立ていただきたく存じます。
ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。